

令和5年12月5日

富良野市議会議長 渋谷正文様

富良野市議会議員 佐藤秀靖
外5名

議員の派遣に関する報告書

このたび議員派遣の承認を受け、その結果を下記のとおり報告します。

記

1 道北支部議長会議員研修会

- (1) 目的 議会活性化及び議員の資質向上に資するため
- (2) 派遣場所 旭川市
- (3) 期間 令和5年10月19日
- (4) 派遣議員 富良野市議会議員13名
- (5) 派遣内容 別紙のとおり

1. 派遣内容

道北支部議長会議員研修会

講演Ⅰ ・演題 住民から期待される議会になろう！

・講師 早稲田大学マニフェスト研究所

事務局長 中村 健 氏

講演Ⅱ ・演題 スクープに見る企業の危機管理

・講師 文藝春秋 取締役・総局長 新谷 学 氏

2. 所 感

講演Ⅰの講師を務めた中村氏は、27歳で旧徳島県川島町(現在の吉野川市)の町長選で初当選し、全国最年少首長として、2期8年自治体運営に尽力された後、地方自治の本旨を探究し、早稲田大学大学院公共経営研究科に入学され、早稲田大学マニフェスト研究所で研究員を兼務されながら大学院を首席で修了される。現在は早稲田大学マニフェスト研究所事務局長として勤務する傍ら、長野県政策アドバイザー、厚木市外部評価委員、山陽小野田市議会アドバイザーなど、行政や議会の双方の支援活動に奔走されている。

講演では、講師の首長や研究者としての見識に基づき、広聴を起点とした議会活動について論じられ、市民の声を聴いて、議会で議論し、行政と情報共有しながら、議会と行政が一体となって、まちづくりに取り組んでいく必要性について講演されたほか、先進事例として、市民からお聴きした提案を全員協議会などの議論で熟慮し、適切にアクションに結びつけている愛知県犬山市議会の市民フリースピーチ制度などが紹介された。

富良野市議会においては、議会とまちづくりトークや議会報告会などの広聴活動を行っており、市民からお預かりした声を市政やまちづくりに反映させていく手法を学ばせていただいた。

講演Ⅱでは、文藝春秋取締役・総局長として、政治家をはじめ、経済界などの著名人と親交のある新谷氏より、日夜、取材対応を行いながら、知る権利とプライバシーや人権侵害の狭間で苦悩しつつも、マスメディアとしての責務を果たしてきた経験に基づいて、企業における危機管理の在り方について講演がなされた。

とりわけ、企業における危機管理5か条として、①最優先で守るものを見定める、②ネガティブな情報ほど早く上げさせる(報告させる)、③常に最悪を想定する、④情報開示は一刻も早く、⑤トップの首は組織を守るためにあることに加え、不適切な広報事例として「逃げる」「隠す」「嘘をつく」の3点が紹介されたところである。

本講演を拝聴し、富良野市議会における緊急時や有事における情報公開の在り方や対応方法の検討に際して、大変参考となるものであった。